

広報

第72号



# 日大山形

令和2年5月11日発行

全国制覇

演じた完勝劇

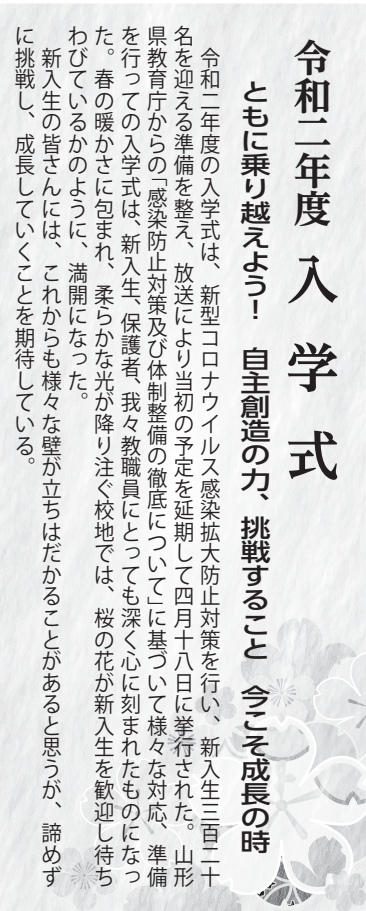


山形新聞 2020年2月7日  
写真提供/山形新聞社

インターハイ男子回転 優勝 高田隼之介

# 令和二年度入学式

## ともに乗り越えよう！ 自主創造の力、挑戦すること、今こそ成長の時



令和二年度の入学式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、新入生三百二十名を迎える準備を整え、放送により当初の予定を延期して四月十八日に挙行された。山形県教育庁からの「感染防止対策及び体制整備の徹底について」に基づいて様々な対応、準備を行っての入学式は、新入生、保護者、我々教職員にとっても深く心に刻まれたものになった。春の暖かさに包まれ、柔らかな光が降り注ぐ校地では、桜の花が新入生を歓迎し待ちわびているかのように、満開になった。

新入生の皆さんには、これからも様々な壁が立ちほだかることがあると思うが、諦めず

### 式辞

入学を許可された三百二十名の皆さん、ご入学おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、このような形の入学式になってしまったこと、大変残念に思います。しかしながら皆さんの入学を心より、そして盛大に祝いたいと思います。

さて、皆さんは、高校入学試験を迎えるにあたって、進路選択や志望校決めなど、人生で最初の岐路に立った人も多いのではないのでしょうか。それを乗り越え、本日は、この場に臨んでいただいたのは、皆さんの選択と挑戦の結果であり、大きな期待と並々ならぬ決意をもって臨んでいただいているのだと確信しております。ぜひ自分の選択に責任と自信を持ち、この日本大学山形高等学校を、自らの成長の場にしていくんだと「覚悟」を決めてください。「覚悟」を決めた者がこそが、本日の入学式がゴールではなく、新たなスタートとなる

のです。

今、私たちが生きる現代社会を評して、「先行き不透明」であると言われます。しかし、私は敢えて申し上げますが、透明度の違いはあれ、過去に先の見通せた時代というのはいまの時代ではないかと思えます。それでもわが国は、住みやすい日本、美しい日本、平和で安全な日本、日本人が大好きな日本を実現してまいりました。その理由は、そこに「人」がいたからです。道を切り開いていこうとする「人」を育てたからです。その「人」の置かれた場所です。持てる資質・能力を発揮して社会に貢献しようとする人を育てたからです。即ち、教育こそが教育を受けた本人のみならず、社会全体の一層の発展を実現する基盤として機能してきたのである、いつの時代にあっても「生きる力」「生き抜く力」を身に付けさせることが、

社会の存亡をかけた教育の根幹でありました。したがって、本日から高校生となる皆さん、高校生の本分

は「学び」です。しっかりと

と学んで知識を蓄えてください。そして、部活動や学校行事、生徒会活動やボランティア活動など様々な体験や、高い物事に対する正しい判断・考えをもった先

生方、すばらしい先輩方や友人との関わりをおとし、心を培ってください。このように、「知識」を蓄え、「心」を培うために、本日から心すべきことを二つ述べます。一つは、物事を習得、習熟するに当たり、必ず基本となる「型」があるように、「学び」にも「型」があり、これを身に付けることなし

には、成長は叶わないという事です。日本を代表する歌舞伎役者の一人で、名女形である坂東玉三郎さんを育てた養父の守田勘弥さんが、幾度も同じ稽古を繰り返さなければならぬこととにどうしても納得がいかない玉三郎さんに、よくこう言っていたそうです。「型破りつてえのは、型を持っている人間の言うことなんだ。形も何もないヤツらがやれば、いいかい、それは



放送による入学式

形なしって言うんだよ。」と演技を支える「型」がなければ台無しになるんだと、「型」を身に付けることの大切さを説いたということ

もう一つは、「自分の中に限界を安易に設けるな」ということです。もちろん、体や心を痛めるまで限界に挑戦せよということではありませぬ。もう無理だ、もうできないと思つた時、本当に限界なのかと自らに問いかけ、もうひと踏ん張りすることで見えてくるものがあります。限界と思うことを乗り越えた時にかむことができるもの、得るものがきつとあるはずで

自分の中に眠っている可能性が見えてきて、必ずやそれが心の奥底で熱く自分を支えてくれる自信となります。

この日大山形には、生徒一人一人がそれぞれ自分の個性を生かし、自分の進んでいく道を考える場面、機会が多く準備されています。本日の入学を、自分を切り替えていくチャンスにしてください。皆さんは日大山高生としてこれから三年間

を送ります。同じ三年間という限られた期間、時間の中で、同じ日大山形という場で、どれほど自分が成長していけるのか、自分に期待して頑張りましょう。

さて、保護者の皆様、本日は、お子様のご入学、誠におめでとうございます。高校生は青年期に当たり、青年期は「第二の誕生」とも言われます。子どもから大人へと成長する時期であり、家庭という枠から社会という枠へと踏み出す過渡期に当たります。そのため、お子様は心身の変化が著しく、不安と悩みの多い時期ですが、苦しみながらも壁を一つ一つ乗り越え、また、時には回り道をしながら、一步一步成長してまいります。私ども教職員一同、全力でお子様の高校生活を導き、支えてまいりますので、ぜひご家庭におかれましては、お子様の成長を見守っていただきたいと思います。お子様が高校生活を送っていく上で、大きな期待とともにご不安もお感じであろうかと思えます。何より大切なことは、学校と家庭がそれぞれの役割を果たしながら、より密接な連携をしていくことだと考えております。

改めて、本日から皆様の大切なお子様をお預かりいたしますこと、重責の重さを痛感いたしますとともに、お子様方を導き、支える私ども教職員も不断の研鑽に努め、決して過去に頑張った者として接するのではなく、教壇に立つ者として、

今現在、自分の教師としての力量を高めるために挑戦をいたします。今を頑張る者として、「若者には負けない」との気概を持ち、最高の教育環境を提供できるように取り組んでまいりますので、本校の教育活動に對して、ぜひご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和二年四月十八日

日本大学山形高等学校 校長 島津 宏道

### 令和二年度 第一学年担当教員

主任	澁井 徹英
副主任	永野 勝久(教)
一組	矢作 直樹(教)
二組	村田 亨(保体)
三組	永野 勝久(教)
四組	齋藤 正樹(教)
五組	齋藤 惠平(理)
六組	木村 忠平(英)
七組	奥山 秀則(国)
八組	羽田 夏美(家庭)
九組	野口 敏広(地歴)
十組	橋本 健志(理)
副担任	澁井 徹英
林	野川 淳地(公)
高木 直哉(公民)	
高木 充彦(教)	
◇学年所属教員	
後藤 綾子(国)	
信太 美徳(国)	
宮内慶太郎(国)	
藤田 和子(地歴)	
菊地 晶子(地歴)	
竹田 智子(数)	
渡邊 亮一(理・情)	
齋藤真理子(英)	
東條 文子(保体)	
青木 大和(保体)	



# 令和元年度卒業式

令和二年三月一日、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、放送により第六十回卒業式が挙行された。例年に無く暖かい日が続き、春の陽気に包まれる中、四一四名が巣立ちの時を迎えた。卒業式にあたり、在学中に各方面で顕著な成績を上げ、各賞を授与された生徒の氏名をここに掲載する。

## 受賞者

### 一、学長賞(学業部門)

黒沼 南帆(大石田中)

### 二、学長賞(学術・文化部門)

ダンスドリル部

### 三、優秀賞

(学術・文化部門)

放送部

### 四、優秀賞(体育部門)

佐藤 麗(楯岡中)

### 五、優等賞

黒沼 南帆(大石田中)  
土屋 実優(天童四中)  
小田切星夢(山形六中)  
石川 晃(大江中)  
南幅 大空(山大附中)

### 六、皆勤賞

三十六名

### 七、精勤賞

一五三名

### 八、学校長賞 三十六名

### 九、大久保・矢野賞

(1) 功労賞

会 長 佐々木俊輔(宮内中)

総務員 富沢 碧(新庄中)

小篠 理人(山大附中)

小松 悠哉(山形一中)

玉ノ原省吾(大石田中)

代議員議長 佐藤 光(山形五中)

代議員副議長 加藤 虹子(山形四中)

大沼 遥圭(神町中)

代議員書記 安達なつみ(山形九中)

学級委員長 松田 勝弥(山形六中)

週番委員長 三上 晃世(山形六中)

保体委員長 高橋潤一郎(山形六中)

HR運営委員長 佐藤 愛理(天童二中)

### 環境整備委員長

坂口 礼(大江中)

図書委員長 阿部 壮男(山形五中)

女子部専門委員長 井上 真帆(尾花沢中)

応援委員長・團長 小林 杏(山形四中)

運動部部长 新美 魁(尾花沢中)

文化部部长 阿部 達則(山形二中)

平成三十年総務員 五十嵐京次郎(山大附中)

鬼頭 拓也(山形三中)

平成三十年代議員書記 松橋 利奈(山形三中)

### (2) 努力賞

宮澤 莉央(浅間中)

大沼 真央(天童二中)

鈴木 彩夏(白鷹中)

岡崎 友柁(山形一中)

三井 真帆(蔵王一中)

安藤 健斗(山形三中)

矢口つつみ(山形十中)

池内 恭平(山形六中)

赤間 鈴音(宮内中)

工藤 香太(山形九中)

仁藤 梢太(山形一中)

菅野 美海(尾花沢中)

青柳 和希(東根一中)

男子ハンドボール部 新美 魁(尾花沢中)

ラグビーフットボール部 有路鴻志郎(大石田中)

ゴルフ部 工藤 大河(神町中)

女子バレーボール部 佐藤 和奏(山形四中)

女子テニス部 遠藤 瑞歩(山形三中)

男子バスケットボール部 柏倉 神威(山形四中)

サッカー部 サッカー部 佐藤 寛太(山形二中)

剣道部 阿部 貢大(上山南中)

バドミントン部 大沼 永樹(大江中)

陸上競技部 伊藤 颯汰(東根一中)

柔道部 海谷 歩佳(高楯中)

卓球部 佐藤 涼平(山形一中)

武田凜太郎(采沢一中)

ボクシング部 多田 眞子(山形三中)

男子バレーボール部 吉田 力歩(山形八中)

ソフトテニス部 國井 一志(山形六中)

田中 千尋(山形十中)

スキー部 酒井 翔太(裏磐梯中)

水泳部 大江 奈知(山形三中)

男子テニス部 高橋 混太(神町中)

男子バスケットボール部 池田 萌花(山形一中)

吹奏楽部 軽部 知紘(山大附中)

美術部 山本 一徹(天童一中)

写真部 大山かんな(尾花沢中)

生物部 杉本 隼(山形一中)

演劇部 今野瑛太郎(山形二中)

書道部 阿部 耀介(陵東中)

放送部 阿部 達則(山形二中)

JRC部 齋藤 周(山形六中)

音楽部 大沼 遥圭(神町中)

囲碁将棋部 高橋 鵬成(山大附中)

ダンスドリル部 板垣 莉子(高楯中)

(4) 文化賞メダル

吹奏楽部 十三名

放送部 五名

ダンスドリル部 五名

学外賞

日本私立中高連理事長賞

佐々木俊輔(宮内中)

(3) 銅メダル

野球部 四名

男子バスケットボール部 五名

スキー部 一名

水泳部 一名

(2) 銀メダル

ボクシング部 十二名

スキー部 一名

水泳部 三名

ゴルフ部 一名

(1) 金メダル

スキー部 高田隼之介(信濃小中)

高木 柊吾(梅田中)



# 部活動報告

## 運動部

### 国民体育大会

#### ボクシング

少年男子ミドル級  
三位 佐々木 巖(山形六中)  
少年男子 出場

鈴木 寿浩(山形六中)  
鈴木 彪斗(楯岡中)  
高橋 里季(河北中)  
石畠 康汰(山形大附中)

#### 水泳部

少年男子B 一〇〇M背泳ぎ  
6位 高内 愛斗(山形十中)  
少年男子A 四〇〇M個人  
出場 大江 奈知(山形三中)  
少年男子B 一〇〇M自由形  
出場 伊藤 康太(山形六中)  
少年女子A 五〇〇M自由形  
出場 加藤 優奈(天童四中)  
少年女子A 二〇〇Mバタフライ  
出場 関 琴音(天童一中)  
オープンウォーター五km  
出場 本間 美優(東根一中)

#### スキー部

少年女子大回転  
七位 中山 美咲(みどり台中)  
出場 佐藤 亜純(最上中)  
少年男子大回転  
出場 高田隼之介(信濃小中)  
高木 柊吾(梅田中)  
青木 理恩(山形六中)  
石黒 克樹(東部中)

### 全国大会

・スキー部  
全国高等学校総合体育大会  
男子回転  
優勝 高田隼之介(信濃小中)

出場 高木 柊吾(梅田中)  
青木 理恩(山形六中)

#### 男子大回転

三位 高木 柊吾(梅田中)  
出場 青木 理恩(山形六中)  
女子回転  
四位 中山 美咲(みどり台中)

十位 宮澤 莉央(浅間中)  
出場 佐藤 亜純(最上中)  
女子大回転  
七位 宮澤 莉央(浅間中)  
出場 佐藤 亜純(最上中)

#### ボクシング部

全日本女子ボクシング選手権大会  
ジュニアの部 ピン級  
出場 高木 小春(山形四中)  
全国高校ボクシング選抜大会  
ミドル級  
出場 佐々木 巖(山形六中)  
女子ライト級  
出場 船山 乃亜(上山北中)  
水泳部  
日本選手権水泳競技大会  
オープンウォーター十km  
出場 本間 美優(東根一中)  
全国JOCジュニアオリンピック  
クワップ春季大会  
男子  
出場 伊藤 康太(山形六中)  
高内 愛斗(山形十中)  
女子  
出場 関 琴音(天童一中)  
加藤 優奈(天童四中)

#### 男子テニス部

全国選抜高校テニス大会 団体出場  
(大会は中止)  
ゴルフ部  
全国高校ゴルフ選手権春季大会  
出場 石澤 慧翔(天童三中)  
(大会は中止)

### 東北大会

#### 水泳部

東北高校新人大会  
女子  
女子学校対抗 優勝(2年連続2回目)  
二〇〇M自由形  
優勝 柴崎ひなた(天童三中)  
四〇〇M自由形  
優勝 関 琴音(天童一中)  
一〇〇M背泳ぎ  
優勝 加藤 優奈(天童四中)  
四〇〇Mフリーリレー  
優勝 柴崎ひなた(天童三中)  
関 琴音(天童一中)  
加藤 優奈(天童四中)  
大貫 愛花(東根一中)

四〇〇Mメドレーリレー  
優勝 柴崎ひなた(天童三中)  
加藤 優奈(天童四中)  
大貫 愛花(東根一中)  
関 琴音(天童一中)  
加藤 優奈(天童四中)  
大貫 愛花(東根一中)

#### 男子学校対抗

三位 関 琴音(天童一中)  
男子  
一〇〇M自由形  
優勝 伊藤 康太(山形六中)  
一〇〇M背泳ぎ  
優勝 高内 愛斗(山形十中)  
二〇〇M背泳ぎ  
優勝 高内 愛斗(山形十中)  
二〇〇M自由形  
優勝 伊藤 康太(山形六中)  
二〇〇Mフリーリレー  
優勝 皓芽(山形三中)  
二位 佐藤 康太(山形六中)  
四位 高内 愛斗(山形十中)  
船山 和暉(赤湯中)

#### 男子テニス部

全国選抜高校テニス大会  
四位  
ゴルフ部  
全国高校ゴルフ選手権春季東北大会  
七位 石澤 慧翔(天童三中)  
全国選抜大会東北予選 出場  
ラグビー部  
東北高校新人大会 出場  
野球部  
秋季東北地区高等学校野球大会 出場  
女子テニス部  
全国選抜高校テニス大会  
東北地区大会団体戦 出場  
陸上  
東北高校新人大会 四〇〇M  
出場 谷口 僚治(山形大附中)

### 山形県高等学校新人体育大会

#### ボクシング部

男子の部  
一部学校対抗 優勝  
ライトフライ級 優勝  
フライ級 伊藤 秀人(山形十中)  
優勝 三沢 瑠輝(山形十中)  
ライト級 優勝 柴崎ひなた(尾花沢中)  
優勝 今田勝太郎(山形四中)  
ウエルター級 優勝 斎藤亜崇翔(陵南中)  
ミドル級 優勝 佐々木 巖(山形六中)  
優勝 高木 小春(山中中)  
女子の部  
ピン級 優勝 高木 小春(山中中)  
ライト級 優勝 船山 乃亜(上山北中)

#### 水泳部

男子  
一〇〇M自由形  
優勝 伊藤 康太(山形六中)  
二〇〇M自由形  
優勝 伊藤 康太(山形六中)  
一〇〇M背泳ぎ  
優勝 高内 愛斗(山形十中)  
二〇〇M背泳ぎ  
優勝 高内 愛斗(山形十中)  
女子  
学校対抗 優勝(六年連続九回目)  
四〇〇Mフリーリレー  
優勝 大貫 愛花(東根一中)  
柴崎ひなた(天童三中)  
関 琴音(天童一中)  
加藤 優奈(天童四中)  
四〇〇Mメドレーリレー  
優勝 柴崎ひなた(天童三中)  
加藤 優奈(天童四中)  
関 琴音(天童一中)  
大貫 愛花(東根一中)  
一〇〇M自由形  
優勝 柴崎ひなた(天童三中)  
二〇〇M自由形  
優勝 関 琴音(天童一中)

#### 男子テニス部

全国選抜高校テニス大会  
四位  
ゴルフ部  
全国高校ゴルフ選手権春季東北大会  
七位 石澤 慧翔(天童三中)  
全国選抜大会東北予選 出場  
ラグビー部  
東北高校新人大会 出場  
野球部  
秋季東北地区高等学校野球大会 出場  
女子テニス部  
全国選抜高校テニス大会  
東北地区大会団体戦 出場  
陸上  
東北高校新人大会 四〇〇M  
出場 谷口 僚治(山形大附中)

#### 女子テニス部

全国選抜高校テニス大会  
東北地区大会団体戦 出場  
陸上  
東北高校新人大会 四〇〇M  
出場 谷口 僚治(山形大附中)



- 四〇〇M自由形
  - 優勝 関 琴音(天童一中)
  - 一〇〇M背泳ぎ
    - 優勝 加藤 優奈(天童四中)
  - 男子テニス部
    - 団体 優勝
    - シングルス
      - 三位 二ノ戸亮徳(高橋中)
      - 三位 田中 勇真(山形三中)
    - 女子ハンドボール部 優勝
    - サッカー部 二位
    - 女子テニス部 団体二位
    - 男子ハンドボール部 三位
  - 陸上競技部
    - 四〇〇M
      - 三位 谷口 僚治(山大附中)
    - ラグビー部
      - 優勝(山形中央と合同チーム)
- 山形県大会
  - 男子テニス部
    - MUFGジュニアテニス トーナメント二〇二〇
      - 優勝 阿部 蒼牙(山形六中)
    - 女子ハンドボール部
      - 全国高等学校選抜大会
        - 山形県予選会 優勝
    - 野球
      - 秋季東北地区高等学校野球 山形県大会 二位
      - 山形県高等学校野球大会 (二年生大会) 優勝
      - 男子バスケットボール部
        - 全国高等学校選手権大会
          - 山形県予選会 二位
      - 剣道部
        - 山形県剣道大会 二位
    - 吹奏楽部
      - 全日本吹奏楽コンクール 山形県大会 金賞
      - 全日本アンサンブルコンテスト 山形県大会 銀賞
    - 生物部
      - サイエンスキャッスル二〇一九 東北大会 優秀賞
      - ダンスドリル部
        - 全国高等学校ダンスドリル選手権大会秋季大会東北大会
        - ソングリーダー部Medium 編成 優勝
        - KICK部門 三位
        - 全国高等学校ダンスドリル選手権大会冬季大会
        - KICK部門 三位
      - 放送部
        - 山形県高校放送コンテスト新人大会
          - ビデオメッセージ部門 準優勝
          - テレビキャンペーン部門 入賞
          - ラジオキャンペーン部門 出場
          - アナウンス部門 出場
        - 朗読部門 出場
        - 東北高校放送コンテスト
        - テレビキャンペーン部門 出場
        - 写真部
          - 山形県高校総合文化祭 優秀賞
          - 菅野 一花(山形六中)
          - 高嶋 弘樹(山大附中)
          - 大場 壮一郎(山大附中)
        - 囲碁将棋部
          - 全国高等学校文化連盟将棋新人大会
            - 出場 大又 尚人(山形三中)
          - 東北地区高等学校将棋新人大会
            - 十五位 大又 尚人(山形三中)
          - 山形県高校総合文化祭将棋専門部大会
            - 優勝 大又 尚人(山形三中)
            - 東北地区高等学校囲碁新人大会
              - 出場 佐久間雄大(山形一中)
              - 大又 尚人(山形三中)
              - 高橋 堅(山形三中)
            - 山形県高校総合文化祭囲碁専門部大会
              - 五位 佐久間雄大(山形一中)
              - 九位 大又 尚人(山形三中)
              - 十位 高橋 堅(山形三中)

**舞台は全国!**

毎年、運動面での生徒の活躍が目覚ましい本校。  
令和の幕開け、全国を舞台に実績を残した二つの  
活動を紹介する。

スキー部

令和二年二月三日〜七日に新潟県妙高市で開催された全国高等学校総合体育大会では、本校部員の活躍が光った。男子回転種目に出場した高田隼之介くん(信濃中)が、一回目で50秒05という全体一位の好記録を残し、見事優勝を勝ち取った。秋口から冬場のシーズンにかけての時期は、国内外での遠征や大会への出場が重なるなど、学校に來られない日も多い。多忙な日々

のなかで自分を磨き、部員同士で切磋琢磨し合った高校三年間で、その集大成として臨んだ大会で、表彰台の頂点から眺める光景は万感の思いだったに違いない。なお、男子大回転で三位となつた高木柊吾くん(梅田中)、女子回転四位の中山美咲さん(みどり台中)、女子大回転で七位・女子回転で十位入賞を果たした宮澤莉央さん(浅間中)など、他の部員の成績については本誌「部活動報告」欄に詳しい。心からの祝福の意を表する。

馬術競技

金野 裕平(鶴岡四中)

令和元年十一月一日〜三日に静岡県御殿場市馬術・スポーツセンターで開催された第四回全日本高校生自馬選手権大会において、金野裕平くんが障害飛越競技中障害120cmクラスで優勝を果たした。10名の選手が出場した同競技で、白馬・カウシ

スに跨った金野くんは決勝進出者中唯一の減点0の走行を見せ、栄冠に輝いた。

高校入学以前から馬術競技に取り組んでいる金野くん。茨城県で開催された令和元年度の国民体育大会にも出場するなど、着実な実績を積み重ねている。活躍に拍手を送るとともに、四月から三年生となる金野くんの更なる飛躍に注目したい。



女子大回転 7位  
女子回転 10位  
宮澤 莉央



女子回転 4位  
中山 美咲



男子大回転 3位  
高木 柊吾



男子回転優勝  
高田隼之介

# 学年主任あいさつ

## 充実した日々を

第一学年主任



澁井 徹

ご入学おめでとうございます。

先月、本校は六十回目の卒業生を送り出しました。そして、新入生の皆さんを迎えることができること、本当に嬉しく思います。今は期待と不安が入り混じった気持ちではないでしょうか。それは私たちも一緒です。これから学校生活を共にするもの同士、心を通わせていきましょう。よろしくお祈りします。

さて、世界は刻々変化していくものです。ですから、何を学ぶかやどう学ぶかとともに、世の中や人生にどういう姿勢で向き合うのが大切だと私は考えます。確かに結果は重大な関心事ですが、私は豊かで充実している日々を送れているかに注目したいと思います。人生の礎となる高校三年間を私たちと一緒に築いていきましょう。

## 充実した中堅学年を

第二学年主任



遠藤 淳一

中堅学年の二年生が

いよいよスタートします。一年次の反省に立って新学年を迎えてほしいと思います。このスタートの時期を良い契機として、どのような一年間を、更には今後二年間の高校生活を送ろうとするのかを具体的に再検討してほしいと考えます。それにはまず、漠然と将来像を考えるのではなく、将来の自己実現のためにより具体的な方法を考え、着実にその方法を実行する意欲が必要になります。二年次は、学習面は言うまでもなく、部活動、生徒会活動など様々な分野で諸君の能力が試されます。この二年次に積極的に自己の能力を磨こうとする意欲が、自身の向上や学校の活力に大きく影響します。充実した二年次を送ることを切に期待します。

今年進路を決める受験生として、みなさんを支えてくれる家族や周りの人への感謝の気持ちを忘れず、健康管理に努め、生活リズムを整え、受験生として真剣に学習と向き合ってください。

## 夢実現に向かって

第三学年主任



中村 寿一

学年便り

「Ambitious」に込めた思いは、大志を抱き、熱い心で人生を歩んでほしいと言う願いです。最終学年として大きな節目の年を迎え、真剣に自分の将来を考え、進路目標達成に結び付けてほしいと思います。言うまでもなく今年の一年間はさらなるエネルギーを発揮し、夢の実現に向かって大きく歩みを進めてほしい大変重要な一年となります。毎日毎日が自分との戦いです。勉強においても部活動においても各人において最高の形で締めくくられるよう頑張ってください。

今年進路を決める受験生として、みなさんを支えてくれる家族や周りの人への感謝の気持ちを忘れず、健康管理に努め、生活リズムを整え、受験生として真剣に学習と向き合ってください。

# 新任教職員紹介



田中 和仁 (事務長兼経理長)

新型コロナウイルスが世界中を席巻している状況下、この原稿を書いています。この広報誌が皆さんの手に届くころは収束の兆しが見えていることを祈念いたします。私は、昨年九月に本校に転勤になり、皆さんのお役に立てるよう、微力ではありますが、裏方(事務)として頑張っていると思っておりますので、よろしくお祈り申し上げます。



菊地 正樹 (数学科・情報科)

神奈川県の日大藤沢から参りました。数学情報とともに苦手な人が多いと思いますが、できる限りサポートしていきます。



清水 崇宏 (理数科)

昨年東京都の日大櫻丘高校で勤務しておりました。山形の豊かな自然と落ち着いた雰囲気を感じております。生徒一人ひとりとしっかりと向き合い、ともに成長していきたいと思っております。



宮内 慶太郎 (国語科)

三月に日本大学を卒業して、地元山形に戻ってきました。母校である日大山形で勤務できることをとてもうれしく思っております。本校のOBとしてみなさん一人ひとりが夢に向かって羽ばたけるよう尽力してまいります。



藤田 和子 (地歴公民科)

長きにわたって勤務したこの日大山形高校を、一昨年に退職し、翔洋学園高等学校という私立の通信制学校に勤務しております。今年度は、一年生の世界史を担当します。また、以前にもまして皆さんの学習を全力でサポートいたします。



菊地 晶子 (地歴公民科)

はじめまして。一年生の世界史と二年生の日本史を担当することになりました。今だけでは大人になっても役立つような授業にしたいと思っております。



堀米 祐人 (地歴公民科)

三月に大学を卒業したばかりの新人です。講師として、本校OBとして、生徒の皆さんの将来のために尽力してまいります。気軽に声をかけてください。



鳴海 竜太郎 (数学科)

はじめまして。新たな環境で大変身の引き締まる思いではありますが、全力で頑張りたいと思っております。

# 日本大学付属高等学校等第三十七回 文芸コンクール入賞者

本コンクールは、高校生への国語力向上の一環として文芸への関心を持たせ、文芸作品の創作意欲を高めるとともに、その指導を通じて的確な表現力を養う。併せて付属高等学校等相互の交流と親睦を図る。を趣旨としており、今年度で第三十七回と歴史がある。今年本校から四名が入賞した。入賞したどの作品も、豊かな感性、高校生独自の視点から作品が表現されており、とても味わいのある作品となっていた。

## ◆入賞者

### 読書感想文

入選

佐藤 拓斗(藤島中)

### 詩

佳作

押野 真歩(天童四中)

### 俳句

入選

三瓶 彩美(高橋中)

佳作

峰田 理生(山形十中)

### 令和元年度卒業生の進路状況について



進路指導主任 松浦 正治

卒業生414名の進路状況は、4年制大学272名(65.7%)、短期大学17名(4.1%)、専門学校80名(19.3%)、就職20名(4.8%)であった。

今年も計画的・意欲的な取り組みにより、多くの生徒たちが目標として掲げていた日本大学や国公立大学などに合格を果たすことができた。私立大学や専門学校への進学希望は多岐にわたるが、山形や仙台に進学をしたものが多いことも特徴的であった。就職希望者も充実した就職指導のもと100%の内定を得ている。年々変わる社会情勢や私大受験の難化、大学入学共通テスト導入を翌年に控える中、先生方の的確な指導と生徒一人ひとりの努力の継続により、上記のようにそれぞれの進路目標を達成できたものと考えている。

**令和元年度  
主な  
合格実績**

※延べ人数  
※( )内の数字は、過年度生で内数  
令和2年4月1日現在

#### 日本大学 154(1)名

法学部	9(1)名
文理学部	9名
経済学部	10名
商学部	16名
国際関係学部	9名
危機管理学部	5名
スポーツ科学部	2名
理工学部	23名
生産工学部	18名
工学部	14名
歯学部	2名
松戸歯学部	1名

生物資源科学部	11名
薬学部	2名
法学部二部	10名
短期大学部(三島キャンパス)	5名
短期大学部(船橋キャンパス)	2名
医学部附属看護専門学校	6名

#### 国公立大学・短期大学 45(4)名

北海道教育大学	1名
東北大学	3名
宮城教育大学	1名
山形大学	18(1)名
福島大学	1名
宇都宮大学	1名
埼玉大学	2名
新潟大学	8(2)名
長崎大学	1名
宮城大学	2(1)名
山形県立保健医療大学	1名
高崎経済大学	1名
新潟県立大学	1名
山形県立米沢女子短期大学	4名

#### 日本大学以外の私立大学・短期大学 217(24)名

岩手医科大学	3名
東北医科薬科大学	7名
東北学院大学	19名
東北福祉大学	18名
東北芸術工科大学	19名
獨協医科大学	1(1)名
青山学院大学	1名
杏林大学	1(1)名
駒澤大学	2(1)名
上智大学	1(1)名
昭和大学	2(1)名
成城大学	1(1)名
専修大学	5(3)名
中央大学	3(1)名
東京歯科大学	2名
東京農業大学	1名
東京薬科大学	1名
東洋大学	8(3)名
日本体育大学	2名
法政大学	2(2)名
明治大学	3(2)名
明治学院大学	5(2)名
立教大学	1名

神奈川大学	2名
同志社大学	1名
近畿大学	1名
関西学院大学	1名
仙台青葉学院短期大学	4名
など	

#### 専門学校 76名 (日本大学附属専門学校を除く)

山形市立病院済生館高等看護学院	2名
山形医療技術専門学校	8名
山形県立産業技術短期大学校	1名
山形調理師専門学校	3名
など	

#### 就職 22名

<b>【公務員8名】</b>	
自衛官一般曹候補生	2名
自衛官候補生	6名
<b>【一般企業14名】</b>	
株式会社きらやか銀行	1名
第一貨物株式会社	1名
東北電化工業株式会社	1名
日本地下水開発株式会社	1名
ALSOK山形株式会社	1名
など	



本校卒業生の海老名さん

本校出身で日本大学文理学部三年生の海老名大... 陸さんを中心に五名の日本大学自主創造プロジェクトの一環として学部説明会を行った。説明した学部は法学部・経済学部・商学部・文理学部であった。現役の大学生の話という点もあり、今現在大学生が「どのようなことを学んでいるのか」「大学生活とはどのようなものなのか」ということを教えてもらった。まず、生徒は五、六名のグループに分かれ、大学生のイメージをグループで話し合いながら模造紙にできるだけ書いた。その間、大学生は各グループに声をかけながら様子を見ていた。大体のグループが意見を出し尽くしたところで大学生からの話を聞いて、自分のイメ



大学生の話聞いて意見出す生徒

ジと実際の大学生の違いを学んだ。自分で発言し、大学生について考えることで、生徒は大学について理解を深めていった。生徒の感想文には「大学生になれば自分で自分のスケジュールを立てることが難しいと感じたが、自分で時間を作る分さまままなことに挑戦できそう。」「今、この二年生の時期にこそ勉強することが大切ということがわかった。」というように「大学生についての新しい発見や大学生になるには自分が今何をすべきかわかった。」というものが多くあった。高校生にとつて想像でしかない「大学生」を、明確に描くことができ、自分の進路をしっかりと確認できた良い機会であった。

日本大学自主創造プロジェクト  
現役大学生による「リアルな日大生！」講演会



# 令和2年度学校説明会

期日	期日	
第1回	2020年10月3日(土)	詳しくは、HPに後日掲載される情報を御覧ください。
第2回	10月18日(日)	
第3回	11月15日(日)	
第4回	11月21日(土)	
第5回	12月12日(土)	

※上記以外の期日に学校参観を希望なさる方は、お電話の上ご来校ください。  
(023-641-6631 担当/矢作・田中)

※学校説明会では、学校生活全般及び入試に関する詳しい説明をいたします。  
※上履きをご持参ください。



山新グループの本校卒業生による「日大山高山新桜友会」(佐藤宏樹会長)より、今年も図書館に本を寄贈していただいた。平成4年から始まり今回で28回目となり、図書も358冊を数える。図書館には専用の書架を設け、生徒たちも先輩方の善意に感謝しながら大いに利用している。若者の読書離れが言われて久しいが、これからも多くの生徒たちが先輩方から贈られた本に触れて巣立っていく。大切に利用させていただくと共に、改めて感謝申し上げる。



表彰式の際の土門さん

二〇一九年、日本大学は創立一三〇周年を迎えた。このことを記念して、「ほくち私たちが輝くための未来への挑戦」をテーマとする作文コンクールが催された。本校応募作品のうち、土門一葉さん(天童三中)の「私の挑戦」が、最優秀賞に当たる日本大学賞を受賞した。同作は、聴覚にハンデを抱える土門さんが、周囲から受けたサポートへの感謝を胸に、将来へ向けた思いを綴ったものである。「夢を手に入れるために挑戦する」という、決意に満ちあふれる言葉が印象的だ。

日本大学  
創立一三〇周年  
高校生作文  
コンクール

# フォト・ア・ラ・カイト



教職員AED講習会



スポーツコーススキー教室



センター試験激励会



修学旅行 長崎平和公園

日本大学山形高等学校広報部  
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘四一五五  
電話 〇二三-六四一-六六三一(代)  
FAX 〇二三-六四一-六六三四  
URL <http://www.yimg.hs.nihon-u.ac.jp>  
写真提供 (株)大風印刷  
有カメラの石山・山形新聞社



思い出に残る卒業式



教室での卒業式

編集後記  
春は卒業式、そして入学式と別れと出会いの季節である。人は別れと出会いを繰り返して行く中で、大きく成長する。別れは辛い耳に響く。別れを意味した途端に、それまでは何てことのない日常が宝物のように感じられてくる。そして、その宝物とお別れするとき、ひどく落ち込む。しかし、だからこそ次の出会いからは、それまでは意識していかなく、日常を大切にしていけることができる。そして、やがて時間の大切さを学んでいく。また同じように、それまでは意識していかなく、小さな出会いでも別れを経験することで、新しい一つ一つの出会いを大切にしていけることができる。別れと出会いは自分の成長によつてそれまでの自分を振り返り、反省し、出会いによってそれを発見すること。新しい自分を発見すること。人間としての視野が広がっていく。そう考えていくと、別れも悪いものではない。春、大きな別れを経験した人は、同じ分だけ大きい出会う。小さな出会いも大切にして、未来の自分についてほしい。